

グローバル有事対応デスク

日本企業の有事対応をグローバル規模でシームレスに支援

フライシュマン・ヒラード・ジャパン

グローバル有事対応デスク：サービスの概要

比類ないグローバルネットワークと専門分野の知見を活かし、日本企業の有事対応をシームレスに支援します

平時におけるコンサルテーション

年間最大4回（原則オンライン・各2時間程度）のコンサルテーション・打合せを通じて
クライアント企業が世界各国・地域で有事に遭遇した際のマスコミやステークホルダー対応を円滑に実施する基盤づくりをサポート

有事対応サービス

クライアント企業 からの連絡

- 常時対応ホットラインの開設
- 電話またはメールによる受付け

初回打合せ 初動対応協議

※原則オンライン・2時間

- クライアントによる状況説明
- FHJチームによる課題の洗い出し等

グローバルでの 対応体制の検討

- グローバルネットワークとの協議・検討
- 最適な対応チーム体制の組成

対応体制と 基本対応方針の ご提案

- 対応チーム体制と基本対応方針のご提案
- 業務範囲の確定

有事対応の 本格着手

※別途料金

- グローバル対応チームによる活動開始
- 進捗状況を随時共有

原則として24時間以内（※ただしベストエフォート対応）

定額年間契約

（基本料金
120万円＋税）

グローバル有事対応デスク：想定する主な有事リスクと支援サービス例

社会課題の深刻化、テクノロジーの発展、地政学リスクの高まりなどにより多様化・複雑化する有事リスクに対応します

想定される有事

1. インシデント対応

- サイバーセキュリティインシデント対応
- 自然災害、人身事故等への対応
- 不祥事や不測の事態への対応

2. イシュー・マネジメント

- サステナビリティ、人権、ガバナンス等の諸課題に関するNGO、規制当局、投資家などとの対応
- 対外投資・M & Aや投資先からの撤退等に伴うステークホルダー対応

3. 法規制・地政学リスク等への対応

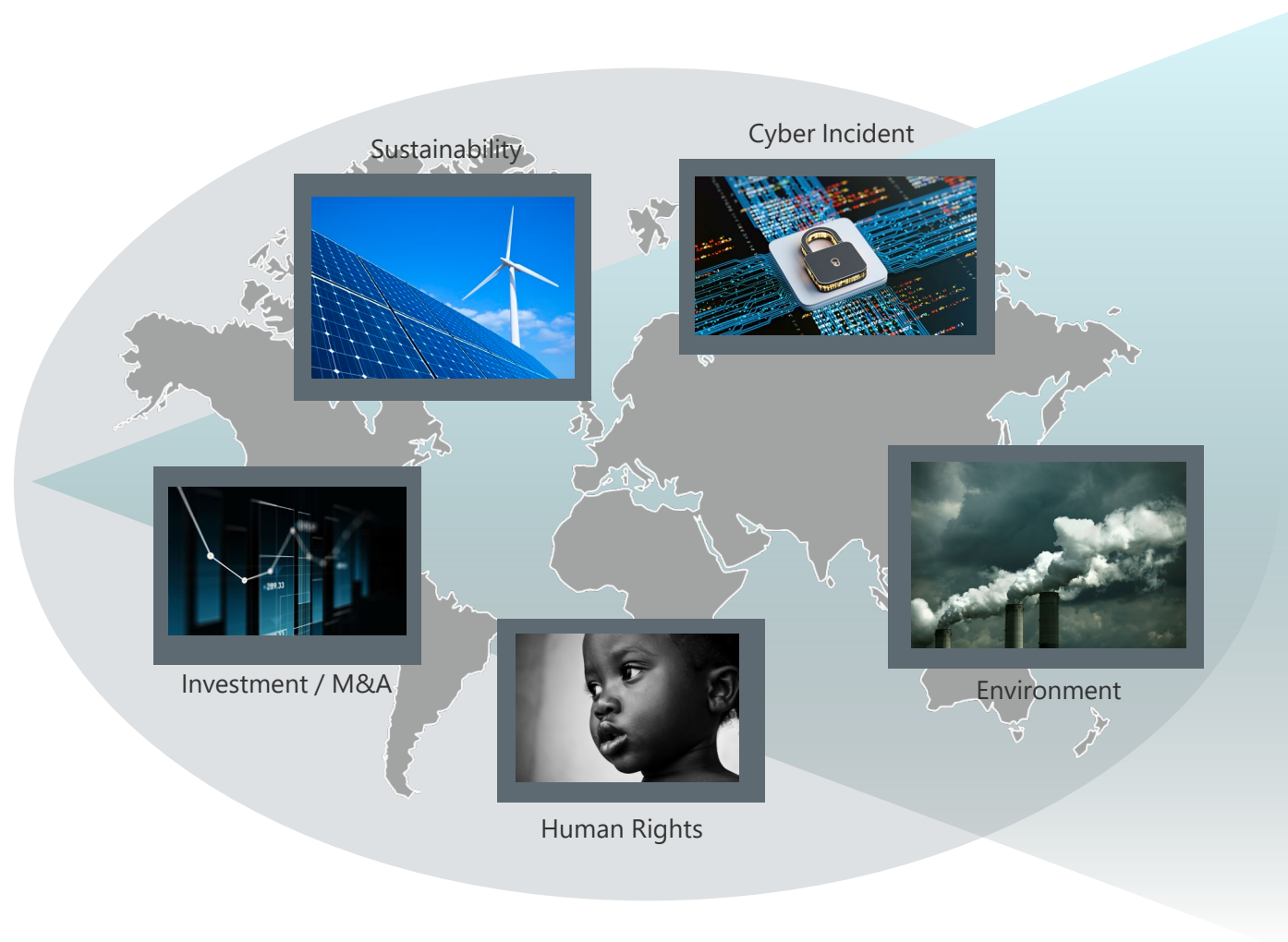
- 法規制や政策の急変（の可能性）への対応
- 地政学的な分断や紛争（の可能性）への対応

提供可能な支援サービス例

- メディア/SNSモニタリング・解析
- 現地でのインテリジェンス収集・ステークホルダー情勢分析
- 対応戦略の策定・協議
- 社内外ステークホルダー・世論対応支援（海外・国内）
- プレスリリース、各種ステートメント等の作成支援
- 記者会見等の各種イベント開催支援
- 以上に関わる社内およびグループ企業間調整支援

グローバル有事対応における外部専門リソース活用の必要性

様々な有事リスクに迅速かつ戦略的に対応するには、即時にグローバル規模で対応可能な専門リソースの確保が不可欠です



多様化・複雑化する有事に対応する必要性

今日の有事は、自然災害や社内外の不祥事発覚といった伝統的なものから、サイバーインシデントなどの高度なテクノロジーに関するもの、サプライチェーン上で発覚する人権問題や環境問題といった社会課題と関連するものなど、多様で複雑を極めていきます。

グローバルにかつ迅速に対応する必要性

情報がすぐさまに国境を越えて伝達される現代では、ありとあらゆる有事にグローバルな対応が必須となっています。正確な情報分析、言語・文化の違いを有するステークホルダーとのコミュニケーション、現地メディアの対応、さらにそこにはスピードも求められます。

類似事案に関わる経験値の必要性

他社の類似事例における実地での対応経験や関連するナレッジを豊富に有する外部専門リソースを効果的に活用することで、的確かつスピーディーな課題の特定と対応策の検討・実行が可能になります。

フライシュマン・ヒラード・ジャパン 概要

グローバルネットワークと連携しつつ 日本市場の専門性を有するコンサルタントが クライアントの課題解決のために、「攻め」と「守り」の両面から戦略的なコミュニケーション支援を提供しています

【法人概要】

- 社名： フライシュマン・ヒラード・ジャパン株式会社
- 設立： 1997年10月
- 所在地： 東京都中央区晴海 1-8-10
晴海トリトンスクエア X棟 39階
- 代表者： 金山 亮（代表取締役社長）
- 人員数： 約40名
- 所属団体： 日本経済団体連合会（経団連）
東京商工会議所
日本パブリック・リレーションズ協会
日本マーケティング協会
日本外国特派員協会 等

【提供サービス概要】

戦略コミュニケーション® コンサルティング

- グローバル広報支援
- コーポレート・コミュニケーション
- リーダーシップ・コミュニケーション
- B2B戦略PR
- パブリックアフェアーズ
- ステークホルダーエンゲージメント
- チェンジマネジメント・コミュニケーション
- ソートリーダーシップ・コミュニケーション、他

各種トレーニング・調査分析

- 各種コミュニケーショントレーニング
メディアトレーニング、リーダーシップ コミュニケーション トレーニング、
ブランド浸透トレーニング、等
- メディア論調／ソーシャルトレンド分析

クライシス広報対応 および ファイナンス・コミュニケーション

- フィナンシャル・コミュニケーション
M&A、委任状争奪戦や敵対的TOBの際の
コミュニケーション支援、等
- クライシス対応
- クライシス対応トレーニング
- リティゲーション・コミュニケーション、他



専門ブランド

BlueCurrent Japan

コンシューマーインサイトに基づく戦略PR

- 戦略PRプランニング／実施
- インフルエンサー マーケティング プログラムの
構築／実施、他

※ 戦略的かつ統合的なサービスを提供する体制を強化するべく、2025年1月から、これまでボックスグローバル・ジャパン株式会社が主として担当していたクライシス広報対応及びファイナンス・コミュニケーションなどの領域についても、フライシュマン・ヒラード・ジャパンとして一括してサービス提供を行うこととなりました。

フライシュマン・ヒラード のグローバルネットワーク

世界最大級のPR/戦略コミュニケーションファームとして、グローバル規模でシームレスなサービス提供体制を整えています



FLEISHMANHILLARD

78 OFFICES

in more than thirty countries,
plus 45 affiliates around the world.

2,200+

employees worldwide



最先端のインテリジェンスの収集・分析を支えるグローバル拠点網

フライシュマン・ヒラードの戦略拠点や専門プラクティスで蓄積された知見が、戦略的な有事リスク対応を力強く支えます



FLEISHMANHILLARD

フライシュマン・ヒラード サイバーセキュリティ センター・オブ・ エクセレンス

サイバーセキュリティに関わる
有事対応、平時からの対
策・体制づくりのベストプラク
ティスを提供するだけでなく、
情報開示に関わる法令等へ
の対応、最新の関連ツール・
サービスの開発動向の分析
など包含した幅広い活動を
展開している。

フライシュマン・ヒラード レスポンシブル・ビジネス・ アンド・グローバル・ インパクト

サステナビリティ、人権、ダイ
バーシティ、ソーシャルインパクト、責任あるAIの活用など、
社会やテクノロジーに関わる
最先端の課題やテーマに焦
点を当ててグローバル規模で
知見を集積しつつ、戦略的
なコミュニケーションやステーク
ホルダー・エンゲージメントを通
じて、ビジネスが社会的責任
を果たしながら持続的に成
長・発展を遂げていくために
求められる変革を促している。

フライシュマン・ヒラード インターナショナル・ アフェアーズ

国際貿易、開発援助、対
外直接投資、宇宙開発、
気候変動対応、人道的支
援など、ハイレベル且つ複雑
にからみ合うグローバル課題
を視野に入れながら、各国
政府はもとより、国際機関、
企業、NGOなどに求められ
る公共政策やステークホル
ダーへの対応、レピュテーショ
ン・マネジメントのあり方など
について幅広く助言や支援
を提供している。

フライシュマン・ヒラード EU

欧州連合（EU）が本部を
置くベルギーの首都ブリュッ
セルを拠点として、民間企業に
よるパブリックアフェアーズ戦
略展開やEUの様々な機関
と民間企業との連携推進な
どを積極的に支援している。
EUを中心に進められている
各分野・テーマ毎のルール形
成の最新動向に関するイン
テリジェンスに強みを持つ。

フライシュマン・ヒラード ワシントンD.C.

米国の首都ワシントンD.C.
に拠点を置き、米国連邦政
府の公共政策に関わるキャン
ペーンの推進や、各種政
策テーマに関する民間企業
による政策提言とそれに伴う
コミュニケーション戦略の策
定・推進を包括的に支援し
ている。



FLEISHMANHILLARD

フライシュマン・ヒラード・ジャパン株式会社

〒104-6039 東京都中央区晴海 1-8-10

晴海トリトンスクエア x39階

電話：03-6204-4300

<https://fleishman.co.jp>

